

10/20 (木) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 10月20日(木) 17時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度地方教育行政功労者表彰(文部科学大臣表彰)の被表彰者の決定について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 本日(10月20日)14時に、文部科学省において、地方教育行政功労者表彰の被表彰者の決定について、記者発表がありました。</p> <p>2 この表彰は、昭和58年から実施されており、「地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員又は教育長を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資する」ことを目的としています。</p> <p>3 今年度は、宗谷管内から2名が表彰されます(被表彰者氏名、略歴及び功労の内容は、別紙を参照願います。)</p> <p>4 表彰式は、10月27日(木)に文部科学省講堂で行われます。</p>		
参考	なお、記載内容は、令和4年(2022年)8月1日現在のものです。		

報道(取材)に当たってのお願い	/		
他のクラブとの関係	同時配付(場所)		
	同時レク		

担当 (連絡先)	宗谷教育局企画総務課長 喜井 勇 人 TEL ダイヤルイン 0162-33-2646 (内線3100) 宗谷教育局企画総務課総務係長 竹下方 章 TEL ダイヤルイン 0162-33-3924 (内線3111)		
-------------	--	--	--

文部科学大臣表彰（地方教育行政功労者）被表彰者

○ 市町村教育委員会関係

職名	氏名 (年齢)	略歴	主な功労
礼文町 教育委員会 前教育長	いわきおさむ 岩城修 (66歳)	平成22年10月に教育長に就任し、令和3年10月に退任した。	<p>小・中・高等学校の教員が協働して作成した「礼文版基礎学力養成問題集」を活用したテスト「礼文検定」や、地域学習「礼文学」などの取組を校種の垣根を越えて実践し、礼文の教育に大きく貢献した。</p> <p>平成26年度には、書籍の購入・貸出双方が可能な直営書店兼図書室である「BOOK愛ランドれぶん」でポイントカードを導入し、町民が本に親しめるよう積極的に取り組むとともに、平成29年度には、図書室内にコミュニティスペースを開設し、地域住民が気軽に集い交流できる場として充実させた。</p> <p>また、放課後子供教室事業においては、留守家庭児童対策として長期休業中の実施日数の増大に取り組むなど支援の充実に努めた。</p>

職名	氏名 (年齢)	略歴	主な功労
枝幸町 教育委員会 前委員	つかもとまさあき 塚本正昭 (66歳)	平成14年10月に旧歌登町教育委員会委員、平成18年3月に枝幸町教育委員会委員に就任し、令和4年4月に退任した。	<p>平成20年度に学校支援地域本部を設置し、地域コーディネーターを配置し、学校支援の推進体制の構築を進め、平成29年度には学校運営協議会を設置し、家庭・地域との連携協力体制を深めることに尽力した。</p> <p>令和元年度には、枝幸町幼小連携・接続推進事業検討会議を立ち上げ、子供同士の交流や教員同士の相互理解を深めるとともに、スタートカリキュラムの整備を行い、幼小連携の体制づくりに貢献した。</p> <p>「オホーツクミュージアムえさし」において、タブレット端末を整備し、入館者が自由に館内を歩きながら展示物の詳しい説明を自分のペースで手軽に知ることができるセルフガイド解説システムを導入するなど、文化振興に努めた。</p>

(注) 被表彰者の職名、年齢及び略歴は、令和4年(2022年)8月1日現在のもの。